

## 平成22年度「組織目標」

<b>所属名</b>	<b>県民文化課（事業予算額 2,288,634千円）</b>
------------	---------------------------------

### 現場の課題(現状)

<p>・心の豊かさを重視する傾向が強まっています。・人と人の絆が求められています。・滋賀の文化を次の世代に着実に引き継いでいく必要があります。</p>
---

### 県民のニーズ

<p>日常生活の中で誰もが文化芸術に触れ親しめる環境づくりが求められています。</p>
---

### 当課の使命

<p>文化力を生かし、心豊かで潤いのある生活の中、人と人との互いにつながり、支え合うことを通じて、活力あふれる地域社会をつくっていきます。</p>
---

	項目(何に)	22年度の目標		どのように(具体的な取り組み)
		どんな状態に	どれくらいに	
1 (部目標)	県の文化振興のあり方の明確化	概ね5年を見通した、文化振興に関する総合的かつ長期的な目標や、施策の方向を示す。	文化振興基本方針の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化審議会の開催</li> <li>・基本方針策定に向けた県民参加のフォーラムの開催</li> </ul>
2 (部目標)	青少年向け文化芸術活動機会の充実	近代美術館、びわ湖ホール、しが県民芸術創造館などの文化施設の取り組みにおいて、多くの青少年が文化芸術を鑑賞しています。しが文化芸術学習支援センターの取り組みにおいて、多くの青少年が文化芸術を体験しています。	文化芸術を鑑賞した小中学生数 :25,000人 文化芸術の体験学習者数 :10,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年向けの自主公演・普及事業の充実</li> <li>・青少年割引料金の設定</li> <li>・教育委員会・企業・地域等との連携</li> <li>・アートNPOとの協働および文化コーディネーター・ボランティアの育成</li> </ul>
3 (部目標)	びわ湖ホールにおける国内外の優れた舞台芸術公演の提供や、県民に親しまれ愛着を持ってもらえるような事業の推進	多くの観客に感動を届ける公演が開催されています。県民をはじめ多くの人々がびわ湖ホールを利用しています。	自主事業の入場率:75%以上 自主事業・貸館事業合わせた 入場者数:180,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽、演劇、古典芸能など多彩な公演の実施</li> <li>・他のホール、企業等との協働と連携の促進(ラ・フォル・ジュルネやびわ湖大津秋の音楽祭等)</li> <li>・ロビーコンサート、学校公演、ワークショップなどの教育普及事業の充実</li> </ul>
4	しが県民芸術創造館および文化産業交流会館における県民の芸術創造活動の拠点としての機能の充実	事業展開において文化団体・市町など多様な団体との協働が活発になり、より質の高いサービスが提供されています。	協働した団体数 :180団体以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民参加型事業の実施</li> <li>・文化団体、市町など多様な団体との協働</li> <li>・県内ホールとの共同・連携事業の実施</li> </ul>

### 目標達成のための心構え等

<p>文化活動者のニーズを把握し、それを施策に生かすため、職員が現場に出かける機会を増やします。文化関係者との信頼感を深めるため、職員のコミュニケーション(対話)能力の向上に努めます。結果(成果目標)だけにとらわれることなく、目標達成に向けたプロセスを重視します。職員全員が情報を共有できるよう努めます。</p>
--